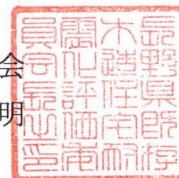


平成 19 年（2007 年）7 月 20 日

エイム株式会社 様

長野県既存建築物耐震化評価委員会  
会 長 笹 川 明



既存木造住宅の耐震補強に関する技術等の評価について

平成 19 年 7 月 10 日付けで申請のありました下記の工法について、本委員会において審査した結果、既存木造住宅の耐震性を向上させるものとして評価しました。

記

工法の名称	かべつよし モイスかべつよし
工法の概要	既存の床・天井を壊さずに建物の内部壁を補強することができる。耐震ボードとして、「かべつよし」は厚さ 9mm の「ダイヤ・デントファイバーボード」を使用、「モイスかべつよし」は厚さ 9.5mm の繊維混入ケイ酸カルシウム板を使用し、これを既存壁に取り付けることによって補強する技術。大壁仕様、真壁仕様及び後施工柱仕様がある。
設計の方法	提出された設計マニュアルによる （（財）日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法又は精密診断法 1 を用いる）
施工の方法	提出された施工マニュアルによる

備考：この評価を受けた工法は、長野県内の市町村が実施している住宅・建築物耐震改修促進事業（旧すまいの安全「とうかい」防止対策事業）の既存住宅耐震補強補助事業の対象となります。